

FAPに関する論文・書籍・学会発表(発表順)

- ・ 大嶋信頼、米沢宏、松浦真澄、中村俊規、吉本武史、斎藤学：F A P (Free from Anxiety Program) -新しいトラウマ治療. アディクションと家族, 18(4) ; 529-536, 2001
- ・ 米沢宏、大嶋信頼：FAP その1—新しいトラウマ治療. 第12回日本ブリーフサイコセラピー学会, 広島, 2002
- 米沢宏、大嶋信頼：FAP その2—FAP 診断. 第12回日本ブリーフサイコセラピー学会,, 広島, 2002
- ・ Hiroshi Yonezawa, Nobuyori Ohshima, Toshinori Nakamura : FAP (Free from Anxiety Program) — basic procedure. X II World Congress of Psychiatry. Yokohama,. 2002
- ・ Nobuyori Ohshima, Hiroshi Yonezawa, oshinoriNakamura : FAP (Free from Anxiety Program) — diagnostic procedure. X II World Congress of Psychiatry. Yokohama,. 2002
- ・ Toshinori Nakamura : FAP (Free from Anxiety Program) — Modern hypnosis with FAP is good for TBI cognitiv outcome. . X II World Congress of Psychiatry. Yokohama. 2002
- ・ Toshinori Nakamu : FAP (Free from Anxiety Program) —Virtual-mode unfolding a nalysis with FAP f orpsychosis. . X II World Congress of Psychiatry. Yokohama. 2002
- ・ .Toshinori Nakamura ,Nobuyori Ohshima, SatoruSatoh, Hideo Nakane, Hiroshi Yonezawa, : Chromogranin showed an efficacy of FAP therapy for PTSDs. X II World Congress of Psychiatry. Yokohama. 2002
- ・ 久藤文雄：診療内科実地臨床における FAP(不安からの解放のプログラム) ; 予備的考察. アディクション と家族 19(2) ; 251-267, 2002
- ・ 泉園子他：新しいFAP. 第13回日本嗜癡行動学会, 名古屋, 2002
- ・ 久藤文雄：心療内科実地臨床における F A P (不安からの解放のプログラム) . 第13回日本嗜癡行動学 会, 名古屋, 2002
- ・ 大嶋信頼他：F A P (Free from Anxiety Program) 治療効果の研究. 第13回日本嗜癡行動学会, 名古屋, 2002
- ・ 中村俊規：<運命による防衛>を試みていた児童性虐待の2例—脳挫傷と分裂病 ; FAP の臨床ノートから 一. 第13回日本嗜癡行動学会, 名古屋, 2002・米沢宏、大嶋信頼：F A P (Free from Anxiety Program) -新しいストレス対処法. 日本産業ストレス学会, 東京, 2002

- ・ 米沢宏、大嶋信頼：F A P (Free from Anxiety Program) ;トラウマに対する新しい治療. ブリーフサイコセラピー研究, 11 ; 114-119, 2002
- ・ 大嶋信頼他： F A P (Free from Anxiety Program) 療法の心的外傷に対する治療効果研究. 第 5 回日本サイコセラピー学会, 2003
- ・ 清水敏幸： F A P で心のコリをほぐす?. 第 13 回日本ブリーフサイコセラピー学会, 札幌, 2003
- ・ 米沢宏、大嶋信頼： F A P ワークショップ. 第 13 回日本ブリーフサイコセラピー学会, 札幌, 2003
- ・ 久藤文雄：心療内科実地臨床における F A P (不安からの解放のプログラム) ; 統計学的検討と手技に関する考察. アディクションと家族 20 (2) ; 173-197, 2003
- ・ 久藤文雄：心理療法の新しい潮流 ; “Power Therapr” の実地臨床研究. 三重医報, 514 ; 32-41, 2003
- ・ 米沢宏、大嶋信頼： F A P モデル. 現代心理療法の実践と展開-メタファー・リソース・トランス(仮題)(吉本武史編)、星和書店, 2004
- ・ 浅菜知香：大うつ病エピソードを呈する 30 歳女性への FAP の適用. 第 14 回日本ブリーフサイコセラピー学会, 東京, 2004, 7
- ・ 永井 香：特定不能の摂食障害を呈する女子高校生への FAP の適用. 第 14 回日本ブリーフサイコセラピー学会, 東京, 2004, 7
- ・ 中村俊規、橋本圭司、野路井末穂、間島富久子：脳外傷後遺症のリハビリテーション POCR : 神経生理機能仮説の検証と Qc の観点からみたプロセス指向の本質に関して. 第 14 回認知リハビリテーション研究会, 東京, 2004, 10
- ・ Toshihiro Nakamura, Takatsune Kumada, Takashi Maruyama, Yoshihir M uraga :
Prefrontal Yoscillation mediated a new cognitiv rehabilitation
intervention (‘POCR’) For TBI and brain-damaged patients’ psychosocial human
growth. ShN(北米神経学会)2004. 11 San Diego(予定、抄録掲載 Sfn abstract)
- ・ 中村俊規、斎藤学、野路井末穂、尾形広行、太田真弓：解離性同一性障害の生物学—ボ
ディー・マインド・スピリットの観点から—。脳と神経の医学、16(3) : 195-213, 2005 *FAP
そのものの臨床成績
- ・ 中村俊規：脳と犯罪。In 小田晋、作田明責任編集「心の病の現在 第 5 冊 脳と犯罪/
性犯罪／通り魔無動機犯罪」。新書館、東京：2006 年 *FAP そのものには触れていません
が、「虚数」と感覚的共感について触れています。

- ・ 中村俊規：ラカンを超えるラカン—マトリックスの住民からの独り言—。In 特集「ラカン 人間存在の仕組み」。大航海、59：88-64, 2006
- ・ 泉 園子：「自分の顔が嫌い」という少女が外出できるようになるまで；身体醜形障害発症から回復までの考察。第16回日本ブリーフサイコセラピー学会, 横浜, 2006. 8
- ・ 北條美紀：軽度発達障害によって誘発された性的トラウマに対する FAP 療法；RorschachTest を契機に改善が見られた事例。第16回日本ブリーフサイコセラピー学会, 横浜, . 2006. 8
- ・ 傍島史聡：長期間幻聴に悩み続ける女性への援助—F A P とブリーフセラピーの適用を通して—。第16回日本ブリーフサイコセラピー学会, 横浜, . 2006. 8
- ・ Toshinori Nakamura, MD. , P h d. : Empathetic transportation within a life space structured with imagery domains of personality, in the light of atherapeutic paradigm named as ‘Virtual Mode Unfolding’ . —虚数構造化空間における情報伝達—モード法と名づけられた治療法を根拠として—2006年9月 ISLSI 国際生命情報科学会
- ・ Toshinori Nakamura : Trauma and ‘extracorporal modeling with imagery domains of personality’ in the light of qanum psychology. 2006年10月北米神経学会
- ・ 泉園子：発達障害が疑われたケースの行動変容に関する検証—リフレーミングと外在化の役割—。第19回ブリーフサイコセラピー学会, 東京, 2009. 8
- ・ 北條美紀：自傷行為を繰り返す女性の回復過程—脳 SPECT 画像のもたらした効果—。第19回：ブリーフサイコセラピー学会, 東京, 2009. 8